

松井かよ子

■豊砂をきれいな浜に！

2023年春に京葉線の新駅「幕張豊砂駅」が誕生します。名称の由来となった「豊砂」の浜（県所有・立入禁止区域）ですが、大量のゴミが打ち寄せられています。市民団体によるビーチクリーンの可能性を探るなど、環境改善に向けて県と市の連携を要望しました。



■降下ばいじんの環境目標値は適宜見直しを

降下ばいじんの環境目標値が48年ぶりに月間値20t/k㎡以下から10t/k㎡以下へと見直されます。臨海部を中心に「ベランダや廊下に黒い粉がたまる」などの苦情が寄せられています。新目標値は10年間変わらないとの方針ですが、さらなる改善を目指すため住民の声を聴き、適宜目標値を見直すよう要望しました。

■コロナ禍で介護保険サービスへの影響は？

前年度に比べて在宅サービス（ヘルパー訪問）は増えた一方、通所系サービス（デイサービス）の利用は減っています。サービスの利用控えによる身体機能への影響が懸念されます。コロナ禍でもできることを見つけ、高齢者の支援をおこなうよう求めました。

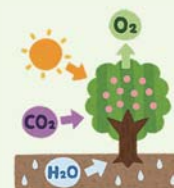
■公民館の役割は、地域課題の解決

公民館は、社会教育施設であり、市民の学びの拠点です。昨今、利用ニーズが多様化していますが、「地域課題の解決に向けて、新たな利用形態についても、柔軟に対応していく」との回答が得られました。

岩崎 明子

■生物多様性は市と市民の協働で守って

食料や木材の供給はもちろん、水や空気の浄化など、人間の生活の大部分は「生物多様性」が支えています。自治体の役割は、生物多様性の価値と保全の意義を市民に理解してもらおう努力をしながら、計画的に保全をすすめる事です。地域で保全を主に担っているボランティア団体の活動を市がわかりやすく見える化し、担い手を増やしていくことも要望しました。



■分譲マンションコミュニティを元気にしたい

市内には約10万7,000戸の分譲マンションがあります。区分所有者が地域のコミュニティ形成に無関心な場合、何十年か後には、まちなかに巨大な廃墟ができてしまいかねません。計画的な建物の修繕が必要な理由や、マンションコミュニティ活性化の具体的な事例などの情報を、区分所有者にも届けることを要望しました。

■一人ひとりの子どもに合わせた不登校対策を

不登校には様々な理由があり、特に小学生が増えています。勉強が分からない子どもへ丁寧に対応すること、学校とコミュニケーションがとれない家庭に対しては、スクールソーシャルワーカーなどと繋がりを作れるよう要望しました。さらに、保護者の不安を解消するため、保護者同士の茶話会を公民館で開くこと。生徒が学校に合わせるのではなく、学校が生徒に合わせる形の「不登校特例校」開設を検討するよう強く求めました。

一般質問
地域の課題や市民の要望を受けて、議員が独自の視点で発言。市に改善を求めます。



市民の声を届けました！ 次年度予算編成に向けての要望書

2022年度に向けて、市民団体からの聞き取りや一般市民との意見交換等を通し、要望をまとめ上げ、昨年10月22日に神谷俊一市長に提出しました。一部を紹介します。（全文はホームページをご覧ください⇒）



- ❖ コロナワクチンを打たない人への差別やいじめが起きないように配慮すること
- ❖ 高齢者・外国人・障がい者・LGBTなど多様な人に対応した避難所とすること
- ❖ 乗り合いタクシー制度が導入できるよう、タクシー事業者と協議をすすめること
- ❖ 保育の一時預かり事業（不定期利用）の受け入れ枠を拡大すること
- ❖ ヤングケアラーの実態調査をおこない、必要なサポートを検討すること
- ❖ 生物多様性保全の視点が市の施策のベースになるよう、環境局と他部局との連携を深めること
- ❖ 有機農業を広める取り組みを積極的におこなうこと
- ❖ 千葉市版「子どもの権利ノート」を活用し、教員への研修をおこなうこと
- ❖ 2023年開校予定の市立夜間中学校を、義務教育未修了者や形式卒業者、日本語が不自由な方たちの「学ぶ権利」を保障するための場とすること

点線で切り取って下さい

郵便はがき

料金受取人払郵便

美浜局 承認 3255

差出有効期間 令和4年2月28日まで (切手を貼らずにお出し下さい)

(受取人) 千葉市美浜区高洲3-20-45 細矢ビル403号室

市民ネットワーク 行

ご意見欄

ご意見に対する回答をご希望の方を含め、差し支えなければご記入ください

〒 住所

氏名 電話番号

メールアドレス

議会トピックス クーポン? 現金? 先に5万円? 政府方針が決まらず迷走

～子育て世帯向けの臨時特別給付金～

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた子育て家庭に対し、1人につき10万円を支給する事業です。政府の方針が決まらなかったため、市議会でも各会派から現金給付の要望書や意見が提出されました。

- ◆事業の目的は? 「子育て家庭の支援」が目的ならば、所得の基準を設けずに、全員に支給すべきです。審査の手間が省けることで、事務経費は安く済みます。
- ◆原則クーポン? 5万円のクーポンを配布するのに、事務手数料がかかること、使える店を決めるなど体制をつくるのに時間がかかることから、現金給付を表明する自治体が相次ぎました。千葉市も全額現金となりました。
- ◆先に5万円、後に5万円? 千葉市では、振込口座が把握できている児童手当受給者には12月23日に10万円、それ以外の例えば、高校生の子供がいる家庭には、1月の申請後、10万円の支給開始となりました。すべて一括での支給です。
- ◆政府はしっかりと制度設計を! 政府の方針が変わると、市も、そこに暮らす市民も影響を受けます。マスコミの前で何度もパフォーマンスをするのではなく、しっかりと制度設計をしてから、正確な情報を一度に発信することを望みます。

区ごとの議員定数が変わります!

国政調査の結果が出たことを受け、1票の格差是正のため区ごとの議員定数変更の発議が出され、市民ネットワークを含めた賛成多数で可決されました。2023年の選挙から施行されます。

	現定数(人)	新たな定数(人)
中央区	10	11 (+1)
花見川区	10	9 (-1)
稲毛区	8	8 (±0)
若葉区	8	7 (-1)
緑区	6	7 (+1)
美浜区	8	8 (±0)
議員総数	50	50 (±0)

議員とお話しませんか?

- 1月21日(金) 10～12時
市議会の見学とお話し会
市民ネットワークの議員が市議会を案内後、お話し会をおこないます。
集合場所：議会棟第1応接室
- 1月22日(土) 15～16時半
オンラインお話し会(zoom)
※教育・ごみのゆくえ等を主なテーマにお話しします
.....

申込・問合せは 市民ネットワークまで
TEL: 043-379-4958(平日10～16時)
メール: chiba@chibanet.jp